

2024 年 10 月 28 日

東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター自己評価報告に係る
評価委員会からの評価結果について

東京慈恵会医科大学
学長 松藤 千弥
総合医科学研究センター
センター長 岡野ジェイムス洋尚

東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター（以下、「センター」）は 1965 年に設立された共同利用研究施設を源としており、1995 年に発足しました。その後、センターは研究所の併設や新たな研究部並びに研究施設の設立など、時代の要求に合わせて変遷を遂げました。2014 年にセンターは本学独自の先端的な研究を推進するため大きく改組され、同時に 3 年に一度、評価委員会からの評価を受けることになりました。

この度、2021 年度～2023 年度の 3 年間について、内部・外部の研究者を委員とする総合医科学研究センター評価委員会を設置し評価を実施しましたので、下記のとおり評価結果を報告致します。

記

1. 対象年度 2021 年度～2023 年度
2. 対象部署 10 研究部・4 研究施設・2 研究所
3. 評価方法 目標達成状況、研究成果発表、研究費の獲得状況等をもとに実施状況进行评估
4. 評価結果 別紙参照

以上

総合医科学研究センター評価結果一覧（2021 年度～2023 年度）

◆ 総合医科学研究センター

センター独自の特色ある先端的な研究を各部署が継続して推進できている。医学部生・大学院生への教育や機器・施設使用教育訓練をはじめとする研究施設の改革にも次々と取り組んでおり、研究推進のための環境整備・支援が展開されている。

また、2023 年度から新たに次世代創薬研究部を新設し、研究力を向上させた。

◆ 研究部門

-
1. 遺伝子治療研究部
研究活動は多岐にわたり進展があり、特許取得や臨床試験が期待される。論文発表や研究費獲得も評価され、教育貢献も顕著である。
 2. 悪性腫瘍治療研究部
学内外アカデミア、企業との共同研究体制を構築することで研究を推進し、多岐にわたる研究テーマについて達成されている。
 3. 分子遺伝学研究部
免疫アレルギー研究やゲノム情報を用いた疾患研究など、共同研究を通じて一定の成果を上げている。14 報の原著論文が報告されており、その実績は評価される。
 4. 医用エンジニアリング研究部
学術変革領域に関する研究分野は独創性が高く、評価される。また着実にその技術力を生かしたシーズの開発への努力がなされている。
 5. 人工知能医学研究部
英語論文を含む AI や超音波に関する研究成果を原著論文として報告し、一定の成果を上げている。
 6. 神経科学研究部
各研究者が設定された目標を概ね達成し、多数の英文論文を発表するとともに、研究費の獲得や若手研究者の育成、さらに教育・運営業務にも大きく貢献している。
 7. 分子疫学研究部
質の高い臨床研究を数多く行っており、英文論文として高いインパクト雑誌等で報告していることは高く評価できる。
 8. 臨床疫学研究部
プライマリケアの現場の問題を真摯に解析しようとする活動が評価され、着実に成果を上げている。多くの課題について論文発表を行っている。
 9. 再生医学研究部
多くの疾患における病態・病因の解明、新規診断法の構築を精力的に進めており、論文文化を含めた確実な進捗が認められる。患者由来 iPS 細胞の作成と病態解明に向けたアプローチや、先進的 MRI 技術の開発など今後の更なる発展が期待できる。

10. 先端医療情報技術研究部

医療 ICT の実用化、アクセシビリティ向上、AI 開発などに積極的に取り組み、多数の論文発表と大型研究費獲得を達成している。

◆ 支援部門

1. 基盤研究施設

学内外の共同研究を通じて着実な成果を上げ、論文発表や大型研究費獲得、教育・運営に貢献している。支援部門としても研究者個人から講座・研究部門の研究プロジェクトまで、広範囲な研究支援を行い、大学の研究の発展に寄与している。

2. 実験動物研究施設

動物実験環境の整備、共同研究の推進、論文発表、研究費獲得を通じて教育・大学運営に貢献し、セラピードック育成、COVID-19 PCR 検査等により附属病院への貢献も認められる。

3. アイソトープ実験研究施設

アイソトープ保管・使用を適切に管理しており、施設として有効に機能している。また、環境調査や放射性ストロンチウム分析法の開発など自らの研究を推進している。

4. 細胞加工施設（JIKEI-CPF）

新外来棟に開設された細胞加工施設 JIKEI-CPF の稼働に伴い、再生医療等製品の製造支援が順調に進んでいる。

◆ 研究所

1. 高次元医用画像工学研究所

極めて先進的魅力的な研究アプローチが、他講座と共同で展開されている。更なる活動の発展が大いに期待される。

2. 臨床医学研究所

多くの学内外の研究機関との共同研究が計画、実施されており、独創的な課題も多い。その多くは論文発表による業績として実現されており評価できる。また、柏病院研究者への研究支援活動、大学における教育活動にも貢献している。